

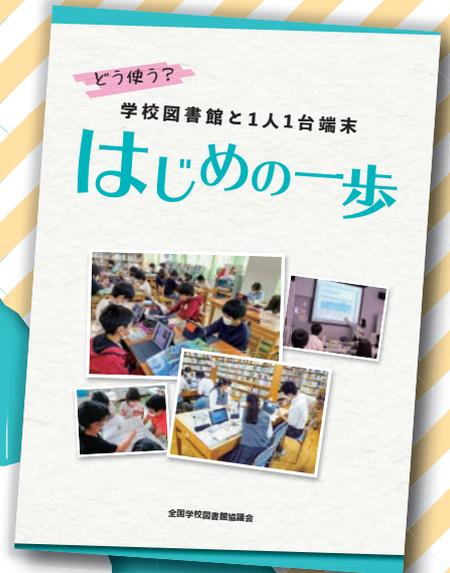
どう使う？

学校図書館と1人1台端末

はじめの一步

GIGA スクール構想により 1人 1台端末が配備され、教育方法が急激に変化を遂げている今、学校図書館活用と ICT 活用のベストミックスを目指すにはどうすればいいか。

学校図書館と ICT の両面からの支援を示した授業事例（全国 SLA 主催「情報活用授業コンクール」優秀賞受賞校など 12校の事例）、学校図書館を核とした授業等での活用のヒント、児童生徒の端末と学校図書館を結び具体的な方法を学び、できるところから一歩踏み出すためのヒントが満載！



「読書センター」「学習センター」「情報センター」としての機能をもつ学校図書館の役割は今後ますます重要となっており、その機能を最大限活かすべく、これまで蓄積してきた学校図書館活用と最先端の ICT 活用のベストミックスが図られることが重要である。

本書『どう使う？学校図書館と1人1台端末 はじめの一步』では、学校図書館と ICT を活用した授業について、具体的・実践的な解説がコンパクトにまとめられている。（中略）学校図書館関係者の皆様には、これまでの学校図書館活用と最先端の ICT 活用のベストミックスを見据えつつ、引き続き本計画に基づく取組の予算化等を通じて、学校図書館図書等のさらなる整備充実に努められるようお願いしたい。

文部科学省総合教育政策局社会教育振興総括官
根本幸枝氏より

第 1 章 1人1台端末時代の学校図書館

第 2 章 (学校図書館× ICT) 活用のベストミックスを目指して

第 3 章 (学校図書館× ICT) 活用授業事例

第 4 章 (学校図書館× ICT) 学校図書館活用ヒント

【コラム】ほか

全国学校図書館協議会

『どう使う？ 学校図書館と1人1台端末 はじめの一步』編集委員会・編著

B5判・80p・フルカラー・定価 1,980円(本体 1,800円+税 10%)

ISBN 978-4-7933-0102-5 C3000

お求めはお近くの書店へご注文ください



「情報活用授業コンクール」とは…

主体的・意欲的な学びを支え、授業展開を深め豊かにし、情報活用能力を身に付けることをねらいとした授業実践のすそ野を広げるために、「情報活用授業コンクール」を創設しました。

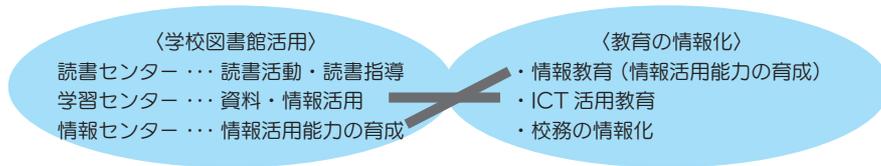
学校図書館を ICT を組み込んだ学びの場とするために、情報活用授業の理解を広げ、指導方法の開発を図り、授業実践の蓄積を共有することを目的としています。



本書の概要

第1章 1人1台端末時代の学校図書館

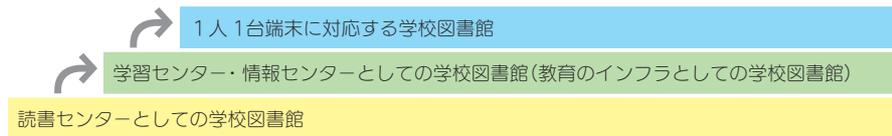
- GIGA スクール構想では、「これまでの教育実践」と「最先端の ICT」のベストミックスを図ることが求められている。
- 「学校図書館活用」と「教育の情報化」には2つの共通領域がある。違いは使用する資料と機器の範囲。



○ 学校図書館と ICT は、協力・連携していくことが必要であり、学校現場では、この動きが始まっている。

第2章 (学校図書館× ICT) 活用のベストミックスを目指して

- 「読書センター」～「学習センター・情報センター」を充実させて「1人1台端末に対応する学校図書館」へ3つのステップ



○ 各ステップを4つの面から考えてみる

- 「組織」——学校図書館運営を意図した組織+学校図書館活用を意図した組織+情報教育を意図した組織
- 「環境/資料の整備」——居心地の良い場+資料・情報活用の場+いつでもどこからでも利用できる場
- 「利用者への直接的支援」——読書推進活動+……
- 「育成する力(支援・指導)」——読む力+……

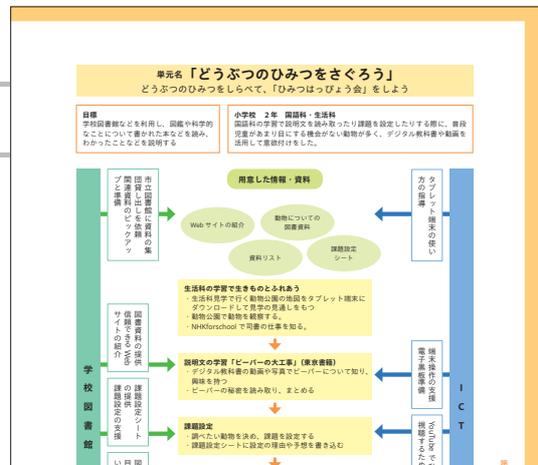
第3章 (学校図書館× ICT) 活用授業事例

- (学校図書館× ICT) 活用の12校の実践事例

授業の流れ
使用した資料
学校図書館とICTの支援



- 小学校4例、中・高等学校6例、特別支援学校・学級2例



第4章 (学校図書館× ICT) 学校図書館活用ヒント

- 授業事例の活用ヒント
- 情報発信の活用ヒント

学校図書館と端末をつなぐ方法

- 蔵書管理ソフトのお知らせコーナー
- 学習ポータルの中に学校図書館関連コーナー
- 学校HP上から学校図書館関連コーナー

- 2つの実践事例

